

新潟ろうきん創立 70 周年・福祉と連携する取り組み ～カレンダー作成と配布活動について～

ろうきん加茂支店推進委員会

新潟県労働金庫は今年度創立 70 周年の記念の年となり、ろうきん加茂支店推進委員会では地域の福祉の向上に役立つ活動を展開しております。

この度、市内の障がい福祉サービス事業所「雪椿の舎」の利用者である坂内晴登さんの絵と出会い、素晴らしいその作品を掲載したカレンダーを作成する運びとなりました。ろうきん加茂支店推進委員会はこの活動を通して「福祉と連携する」取り組みを進めてまいります。

また、現在、ろうきん加茂支店のロビーでは、作品展も開催しております。この度のカレンダー配布により、皆様には障がいに対するより一層のご理解を賜りますと共に、今後ともご支援とご協力をお願い致します。

障がいを持つ方の可能性を信じて！

障がい福祉サービス事業所 「雪椿の舎」

私たちは、加茂市内で障がいを持つ子の親たちが手をつないで、この子らの居場所を造りたいと、昭和 52 年 10 月に市内の秋房に「雪椿の舎」を立ち上げました。その後、昭和 58 年 12 月に陣ヶ峰に移転し現在に至っています。

加茂労金さんには、当施設で制作販売のクッションを大量に購入して頂き、その後もご配慮いただいております。この度は、利用者さんの絵を店内に展示していただき、その流れで今回のカレンダー作成につながりました。

この施設の利用者さんの可能性を信じて、支援員も日々努めております。

今後は、ご利用者の「絵のレンタル」などで、障がいの事を皆様からご理解いただく機会に繋げていけたらと考えております。障がいがあっても地域で暮らせる加茂市でありたいと願っています。地域の皆様のご理解を宜しくお願い致します。

【新潟ろうきん創立 70 周年ロゴマークの「結」マーク】のご紹介



つくり「吉」を漢数字の“七〇”にデフォルメし、縁起色である「赤」で強調しました。へん「糸」には“結び目”を組み込み、視覚的に“結”を表現しています。

これまで結んできた人や地域、暮らしや社会などへの感謝を込めるとともにこれからも様々な繋がりを大切にする新潟ろうきんの未来への想いとなっています。